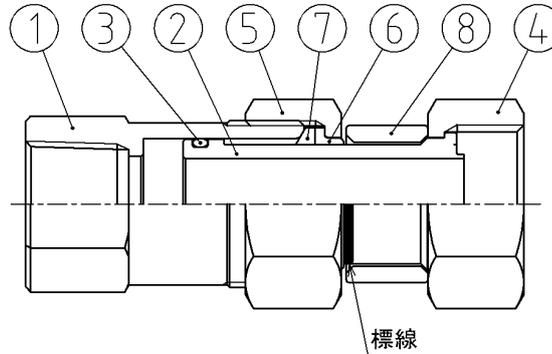


# メータ伸縮ソケット TK 施工手順書

この度は、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
器具を設置する前にこの施工手順書を読んで、正しく設置してください。

## 1.各部の名称と材質



部番	部品名称	材質	部品の機能
1	胴	CAC902	テーパねじ接続のためねじ形状。
2	伸縮管	CAC902C	伸縮する連結管。
3	Oリング	NBR	水密性を保持する。
4	メータナット	CAC406C 又は CAC406	水道メータと接続する。接続ねじ規格に種類あり。
5	胴側ナット	CAC406C 又は CAC406	締付けにより伸縮パッキンをつぶし伸縮管を固定する。
6	伸縮リング	POM	伸縮管の抜け止め。
7	伸縮パッキン	NBR	水密性保持と伸縮管を固定する。
8	伸縮ストッパー	PP	基準長さで設置し縮み代を確保する。

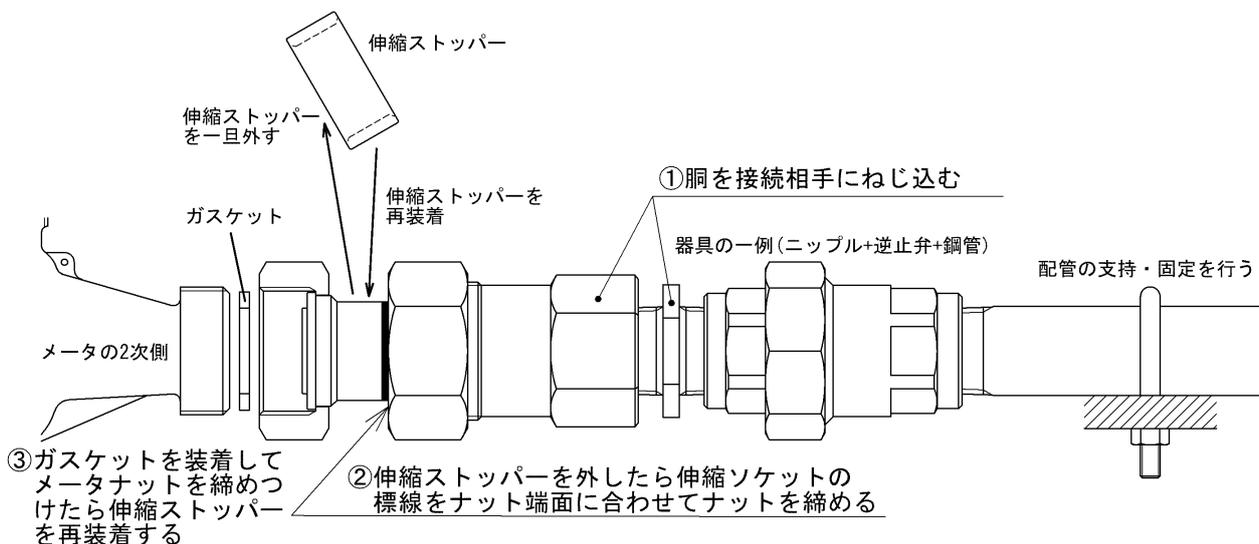
## 2.仕様

項目	内容
使用流体	水道水
使用圧力	0.75MPa 以下
使用流体温度	5～35℃

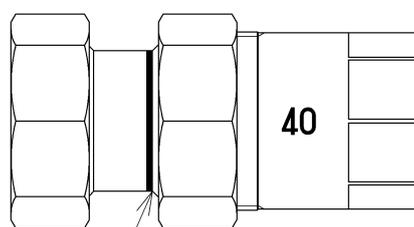
## 3.施工手順

- ①部番 1 胴を接続相手(管/器具)にねじ込みます。
- ②部番 8 の伸縮ストッパーを一旦外し、部番 2 伸縮管に表示してある標線を部番 5 の胴側ナット端面に合わせて胴側ナットを締め付けます。呼び径 40 は部番 6 伸縮リングに標線を合わせて胴側ナットを締めつけます。
- ③部番 4 のメータナットにガスケットを取り付けて水道メータの 2 次側を接続し、部番 4 のメータナットを締め付けたら、伸縮ストッパーを再装着して、メータ交換時の適正伸縮量を確保します。
- ④水道メータの 1 次側を接続します。  
このとき、1 次側と 2 次側の管軸が合っている事を必ず確認してください。

メータ伸縮ソケット TK の接続説明のため、メータの下流側から接続する手順で説明していますが、上流側の配管が完成している場合も伸縮管の標線は所定の位置に合わせて配管し、最後に伸縮ストッパーを装着してください。



## 13~30 の場合



40は標線を伸縮リングに合わせる

## 40 の場合

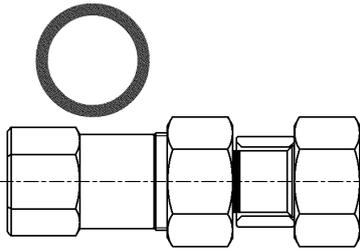
## 4.メータの交換

- ①伸縮ストッパーを外します。
- ②メータの1次側の接続をはずします。
- ③伸縮ソケットの部番5の胴側ナットを緩めて、メータと一緒に伸縮ソケットを胴側に押し込みます。
- ④部番4のメータナットをはずします。
- ⑤メータを交換して、新しいガスケットを使用し、メータの1次側を接続します。
- ⑥部番2の伸縮管をメータ側に寄せて、ガスケットを装着した後、部番4のメータナットを締め付けて、メータの2次側を接続します。
- ⑦部番5の胴側ナットを締め付けます。
- ⑧伸縮ストッパーを装着して作業が終了です。

## 5.注意

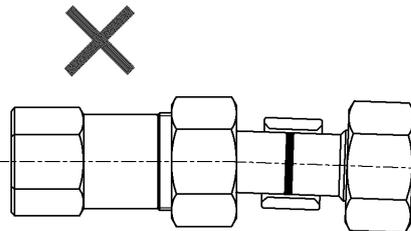
- ①伸縮ソケットは必ず標線を胴側ナット(呼び径40は伸縮リング)に合わせてください。最初から伸ばした状態で使用すると、管軸がずれやすくなり、伸縮パッキンに偏荷重が加わり、時間経過と共に漏水する可能性があります。
- ②伸縮ソケットを最も縮めて施工した場合には、縮み代がないため、メータ交換が困難になります。必ず標線位置で施工し、伸縮ストッパーを装着してください。
- ③胴のテーパねじ部の接続の際は、六角形(30と40は八角形)レンチ掛け部に工具を掛けて、表に示す標準締め付けトルクで締め付けてください。レンチ掛け部でない部分でパイプレンチによるねじ込み作業や、過大トルクは器具が変形・破損する原因となります。
- ④胴側ナットの締め付けは、表に記す締め付けトルクを目安としてください。過大な締め付けトルクは、つぶされた伸縮パッキンが行き場を失い、胴側ナットのねじ山に食い込んで、メータ交換時にナットが緩まなくなることや、伸縮管がスライドしなくなることがあります。

正しい施工



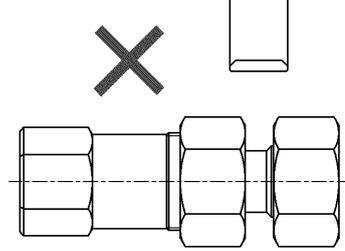
標線位置が合っている  
伸縮ストッパーを装着している

不適切な施工



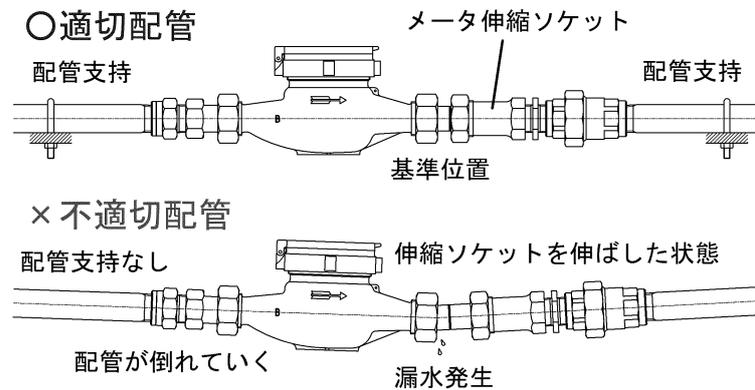
伸縮管が伸びて標線位置が合っていない  
伸縮ストッパーが機能していない  
↓ (その結果)  
伸縮管が傾きやすい

不適切な施工



伸縮管が縮んで標線位置が合っていない  
伸縮ストッパーを装着していない  
↓ (その結果)  
メータの交換ができない

- ⑤伸縮ソケット前後の配管は支持金具で確実に固定してください。支持が不完全な場合、水撃による騒音発生や、配管が傾いて漏水する事があります。



- ⑥中口径の場合、メータ下に架台を設置し、メータ伸縮ソケットへの荷重負担を軽減してください。
- ⑦出荷時は伸縮ストッパーを装着し、標線の位置で胴側ナットを固定しています。施工前に伸縮管を胴から外した場合は、再度装着するときに、Oリング、パッキンシール部への異物の付着がないことを確認して、Oリングのはみ出しや、かみ込みを起こさないように注意して組み立ててください。一度かみ込んだOリングはせん断寸前まで傷んでおり、そのまま再使用することはできませんので、必ず新しいものに交換してください。
- ⑧メータ交換の際、継手内に堆積したスケールの上を伸縮管のOリングが通過することで、シール部へ異物を巻き込み、漏水することがあります。このような場合は伸縮管を外し、継手内部のスケールを清掃し、新しいOリングに交換してください。Oリングのサイズは下表の通りです。Oリング交換の際は、Oリングの滑りをよくするため、適量のシリコンオイルをOリングに塗布してください。
- ⑨凍結の恐れのある環境に設置する場合は、凍結防止措置を施してください。

施工時の締め付けトルクとOリングサイズ表

呼び径	13	20	25	30	40
胴(テーパねじ)の標準締め付けトルク	40N・m	60N・m	100N・m	120N・m	150N・m
メータナット(平行ねじ)の標準締め付けトルク	20N・m	25N・m	30N・m	40N・m	50N・m
胴側ナットの締め付けトルク(目安)	5~8N・m	5~10N・m	10~15N・m	20~25N・m	25~30N・m
伸縮管のOリングサイズ	P16 (内径 15.8×太さ 2.4)	JASO2023 (内径 23.3×太さ 2.4)	JASO2030 (内径 29.7×太さ 2.4)	P36 (内径 35.7×太さ 3.5)	P45 (内径 44.7×太さ 3.5)



前澤給装工業株式会社

本社〒152-8510東京都目黒区鷹番2丁目14番4号

(03)3716-1511(代表)

※本取扱説明書記載の仕様及び寸法は、予告なく改訂する場合があります。

(2022年7月)